

ふろんていあタウン工房

ふろたん通信



2014年 2月28日 広報センター

No. 1

MT.VICTORIA PROJECT

3月14日 ビクトリア山・現地調査に出発！

□機関紙創刊号です。

昨年3月に設立40周年記念としてミャンマー遠征ビクトリア山登山を行った、URワングル同好会がスタート時から発行している機関誌「渡り鳥通信」は、1973年3月20日付の創刊号からの最新号のNo.932(2014.2.13)まで続いています。それに倣って、NPO法人設立を目指していた2月に、最初の現地調査隊のメンバー紹介する機関紙創刊号発行の準備を進めていましたが、予想外の再申請手続き、認証時期が先に延び、頭に“NPO法人”が付かない「ふろんていあタウン工房」の機関紙「ふろたん通信」創刊号の発行ということになりました。

□調査隊メンバーと今回の現地調査活動

登山口でモタモタしているような感じになってしまいましたが、気を取り直して元気に、現地調査隊を送り出しましょう。3名の少数精鋭部隊です。ふろんていあタウン工房(URワングル同好会)から赤川勉調査隊長。当初から連携活動をお願いしていたNPO法人まちナビ倶楽部からは、二人の大ベテラン、森角武久さんと三宮満雄さんが参加されます。(3.14~3.20)

ビクトリア山の「花と緑の登山道マップ」作成に向けた現地調査と、啓発活動資料として作成中の小冊子「公園の登山道」について国立公園事務所スタッフの方達と意見交換をします。今までナマタン国立公園の植生調査を行ってきた牧野植物園スタッフにもお会いします。帰りのヤンゴンでは、色々と協力頂いている日本ミャンマー協会の現地事務所も訪問する予定です。

□壮行会に、ご参加ください！

- 日時；3月4日(火) 18：30~21：00
- 場所；「びるまの豎琴」(渋谷区恵比寿 2-8-13 Tel.03-5420-1686)
- 会費；3,000円 ※出席される方は3/3迄に高田幹事へ連絡を(090-4824-2176)

□「ふろんていあタウン工房」会員メンバー

再申請届出日現在の会員メンバーです。

「正会員」 室井隆良 瀬川基之 安原昭子 浜崎良治 森田忠志 赤川勉 朝倉正浩
高田睦夫 安村孝志 宮本保宏 鶴見隆志 (以上発起人メンバー) 山本稔

「賛助会員(個人)」 安田重雄

「賛助会員(団体)」 (株)ピース・イン・ツアー (株)アルテップ (有)プラディ・アソシエイツ

□フロンティアタウンシップ

「URワングル同好会」メンバーを中心に設立した「ふろんていあタウン工房」は、趣旨書に書かれてあるように、郊外の新しいまちづくり・環境づくりで培った日本のニュータウンの開発技術を活かし、ミャンマー国の辺境(フロンティア)の地で「山づくり」(山の魅力を高める環境保全活動)と「まちづくり」(山麓の村の生活を向上させる地域おこし活動)に取り組む団体を目指しています。会員の心得「フロンティアタウンシップ」について書いた本をつくり、入会の際にお渡ししています。



□国内では、まず会員拡大活動

- ①「賛助会員(個人・団体)」の勧誘；山好きの人間に限らず、ニュータウン事業経験者・都市計画コンサルタントなど幅広い方々に声をかけ、ボランティア活動の仲間を集めましょう。
※YESの方には「フロンティアまちづくり読本」を贈呈 NOの方には書籍購入のお願い
- ②「まとめ買い」をお願いできる団体さがし
- ③「賛助会員」で積極的な参画が期待できるメンバーには、漸次「正会員」への移行を要請

□NPO法人発足に向けた体制づくり

広報センターのバックアップ体制をつくり、機関紙発行等の広報活動を積極的に推進、事務局体制のスタッフ強化も図ります。会員相互の情報交換の定例会を、毎月第3木曜日に恵比寿の「びるまの豎琴」で行います。18時から21時半頃まで必ず誰かがいますので、時間がある方は気軽に顔を出してください。(第3木曜なので「山木会(サンモクカイ)」と名づけました)

□寄付金ありがとうございました。

発起人メンバーの安原さんから「広報活動の費用に」と、3月11日に三回忌を迎える勲さんとの“ご夫婦での寄付金”をいただきました。右の写真は、今回の調査活動資料「公園の登山道」で日本の国立公園紹介として載せている「尾瀬ヶ原(1985)」。ワングルメンバーの中にお二人の姿も見えます。

